

京都

キョウト遺産 VS. シブヤ遺産

まちの力を未来につなげる

地球環境に大きく影響しているのは都市です。同時に、都市は私たちに豊かさをもたらしてくれています。この都市がもっている二つの側面を自分たちの切実な問題として理解するためには、都市をよく知る事が大事です。日本の代表的都市、京都と東京（渋谷）を比較しながら、都市と地球環境がどのようにつながっているかを、京都研究の少壮研究者、中川理さん（京都工芸繊維大学教授）と村松伸（総合地球環境学研究所）が、激論を戦わせます。その対話を通して、都市と地球環境について考えます。

中川 理 NAKAGAWA Osamu
(京都工芸繊維大学 教授)

1955年生まれ。京都大学建築学科卒業。日本学術振興会特別研究員をへて、現在、京都工芸繊維大学大学院教授。著書：『重税都市』、『偽装するニッポン』、『京都モダン建築の発見』、『風景学』などがある。

村松 伸 MURAMATSU Shin
(地球研 教授)

1954年生まれ。東京大学建築学科卒業。東京大学生産技術研究所教授をへて、現在、総合地球環境学研究所教授・東京大学生産技術研究所教授（兼務）。著書：『上海一都市と建築』、『中華中毒』、『象を飼う』、『シブヤ遺産』などがある。

日時 2010. **4/16 (金) 18:30 ~ 20:00**

(18:00 開場)

場所 京都府総合社会福祉会館
ハートピア京都 3階大会議室 (京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口すぐ)

定員 200名 (先着順) 主催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 後援 京都府

お申し込み
お問い合わせ

メール・お電話・FAXにて
右記までお申し込み下さい

総合地球環境学研究所 総務課企画室

TEL (075)-707-2173 FAX (075)-707-2106

E-mail shimin-seminar@chikyu.ac.jp URL <http://www.chikyu.ac.jp>

聴講無料